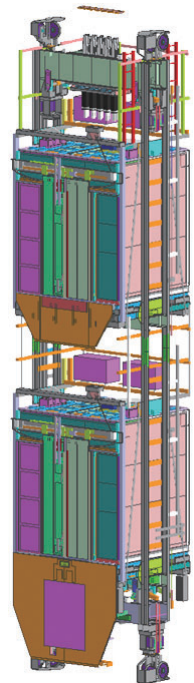


## 麻布台ヒルズ森 JPタワーに超大容量高速エレベーターを納入



写真提供: PIXTA  
麻布台ヒルズ森JPタワー



ダブルデッキエレベーターの構造モデル

麻布台ヒルズ森JPタワーに納入した超大容量高速エレベーター  
Ultra-large-capacity high-speed elevators delivered to Azabudai Hills Mori JP Tower

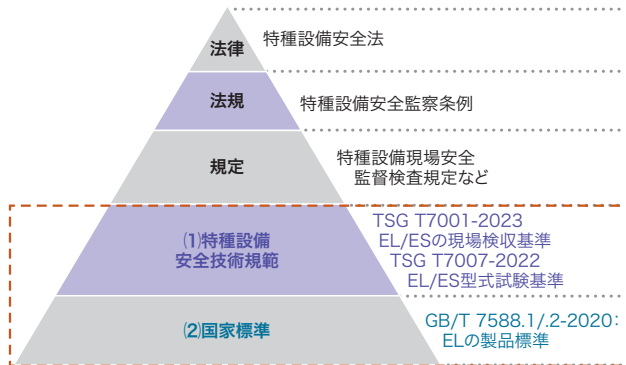
2023年11月開業の麻布台ヒルズ森JPタワー<sup>(注)</sup>に、超大容量高速ダブルデッキエレベーター 8台を含むエレベーター全50台を納入した。

ダブルデッキエレベーターは、エントランスロビーと、33階・34階のスカイロビーとを定格速度360 m/分でシャトル運転され、上下連結2階建てのかごはそれぞれ34人乗り(合計積載質量4,500 kg)で、輸送力確保に貢献した。また、地震後は機器損傷の有無を自動診断し、異常がなければ仮復旧させる地震時自動復旧運転を、当社として初めてダブルデッキエレベーターに適用した。高層ビルへの納入に配慮し、高階床バンクには強風や地震に起因する長尺物の振れ対策を行った。昇降路内機器への引っ掛かり防止策のほか、建物揺れに伴うかご振動を抑制するロープ振動絶縁装置、及び地震発生時にロープ振れが小さくなる位置にかごを退避させるなどの機能を持つ長尺物振れ管制運転を適用した。運用面では、エレベーターの運行情報を分析するモニタリング機能を備えたPC(パソコン)式監視システムを採用し、ビル内人流データを活用可能にした。

(注) 森ビル(株)が東京都港区で開発を推進した複合施設。

東芝エレベータ(株)

## 中国法規に対応したエレベーター



TSG: 特種設備安全技術規範  
EL: エレベーター  
ES: エスカレーター  
GB: 中国国家标准

中国のエレベーター法規体系  
Elevator regulations in China

エレベーターの安全性を高めるために、各国で定期的に法規が改定されている。今回、6年ぶりに改定された中国法規に適合したエレベーターを開発し、型式認定を取得して量産開始した。

今回改定された法規は大きく分類すると、次の2種類である。

- (1) 特種設備安全技術規範(強制) 中国国内で製造販売する製品仕様の安全要求と、利用開始前の行政機関による検査の基準である。改定の一つとして、ブレーキの同時故障を想定したエレベーターの速度異常を防止する新たな要件が追加された。エレベーターのブレーキは従来も、独立した二重構成であり、片側が故障しても安全に停止できる。今回、既存のインバーター回路を利用したモーターの発電制動機能で、速度異常の防止を実現した。
- (2) 国家標準(推奨) 欧州の統一規格であるEN規格と同等であり、利用者やメンテナンス作業者の安全対策に、より配慮した国家規格である。改定では、ドアの強度向上や、回転物・充電部の保護、電磁両立性(EMC)などの要件が追加された。EMCについては、ノイズ対策を実施することで、改定に対応した。

東芝エレベータ(株)